

地域のマザーファームとして農業の未来を開く (株式会社 リアルトリート)

<法人の概要>

所在地：福島県石川郡石川町大字曲木字坂ノ下1番4

設立：平成19年1月

資本金：1,000万円

売上高：2,600万円（平成26年）

役員：1名（うち農作業従事1名）

従業員数：8名、うち農業従事者7名

経営面積：3.87ha 営農作物：ベビーリーフ、他

農業開始時期：平成24年3月



ベビーリーフハウス棟



ベビーリーフ畑

<農業参入に至った経緯・動機>

太陽光ソーラーパネル部品（半導体）製造を行っていましたが、地域農業の発展と農産物のブランド化を目指し、平成24年3月に新たに農業法人を設立しました。

前年に起こった東日本大震災と原発事故による農産物への風評被害の中で、拡大が目覚ましい生鮮野菜市場向けベビーリーフの生産・販売を開始するとともに、後継者不足や高齢化等により農業の持続性や発展性が懸念される中で、地域農業への新たな提案と農業活性化のためのマザー・ファームの役割を担うことを目指しています。

<農業参入することを決めてから営農開始まで>

当初は遊休地を購入しハウス13棟でベビーリーフの生産と委託による販売を開始しましたが、同年に福島県の企業農業参入支援事業の採択を受け、新たに土地を賃貸し温室ハウス8棟、堆肥棟、灌漑設備等の増設や従業員の採用拡大などの本格的な大量生産体制を確立するとともに、ベビーリーフ生産から販売までの一連のプロセスやノウハウを地域の意欲的な農家に提供するベビーリーフ生産パッケージを開発し、地域農家のベビーリーフ生産への参入や立ち上げの迅速化の実現など、地域農業の活性化に取り組んでいます。

<営農開始から現在まで>

現在、温室ハウス21棟から年間約7,500Kgのベビー・リーフを出荷しており、地元や県内の農家も弊社のベビー・リーフ生産パッケージを活用して、60棟程度でベビーリーフ生産を計画しているなど、地域と一体となった農業活性化とブランド化にも取り組んでいます。

また、販売網の多角化を目指した新規の販売ルート開拓にも取り組み、現在は委託販売のほかに、福島県いわき市のスーパー「マルト」や「西友グループ」「ヨークベニマル」などにベビーリーフを出荷しています。

<今後の農業経営の展開方向>

高齢化や後継者不足、政府のTPP参加姿勢など、農業を取り巻く環境が厳しさを増す中で、地域農業の活性化とブランド力のさらなる強化に向けて、地元をはじめ県内外の意欲的な農家とのさらなる連携を図り、マザーファームとしての活動をいっそう進めていきます。

また、生産効率の改善や省エネ化にも取り組んでおり、今後、加工施設、冷蔵貯蔵施設、ヒートポンプによる地中熱回収システムを稼働する予定です。

さらに商品力のいっそうの向上にも取り組み、弊社の土壌改良剤「ミネグリーン」による「土づくり」の強化にも取り組んでいます。



ベビーリーフ収穫風景



商品(ベビーリーフミックス40g)

<今後農業に参入しようとしている法人へのアドバイス>

これからの農業で重要なことはコスト意識を持つこととブランド化につながる販売網の開拓です。

イニシャルコストをいかに抑えるかが農業参入の成否につながるため、補助事業などをうまく活用しながら初期投資を抑えつつ効率的な生産体制を確立し、同時に販売網の確立とブランド力を高める工夫が重要になります。